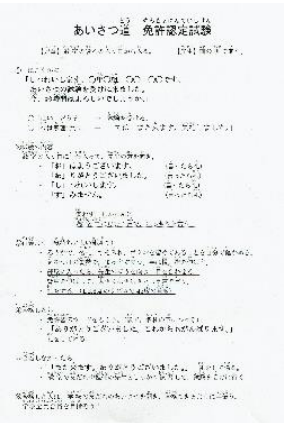



令和元年度生徒指導集中対策及び生徒指導実践指定校「特別活動の取組事例」

学校名	府中町立府中北小学校	校長	黒山 寛司	生徒指導主事	寺口 和幸
-----	------------	----	-------	--------	-------

取組事例名		『府中北小学校〈あいさつ道〉』			
取組における育てたい資質・能力					
人間関係形成		社会参画		自己実現	
協調性	2	主体性	1	向上心	3
取組のねらい					
<p>○児童にあいさつをする意欲を持たせ、楽しくあいさつする習慣を定着させるとともに、明るく自信をもってあいさつができる子を育てる。</p> <p>○積極的にあいさつをすると、する人もされる人も気持ちがよいのだということを感じさせ、意欲的にあいさつをしようとする態度を養う。</p>					
取組の具体的内容			取組の創意工夫 『関わり合い』		
<ol style="list-style-type: none"> あいさつ道の内容のプリント（試験の受け方）を児童に配付するとともに、教室に掲示して紹介する。（声の出し方、気を付けや例の仕方、視線など） 「してみせ、させてみて」指導し、子どもたちに取り組ませる。（個人や学級で練習） ピア学年であいさつ道を教え、練習する時間を取る。 学級担任が試験を行う。 学級で合格した児童は、校長又は教頭から免許認定試験を受ける。 <ul style="list-style-type: none"> 合格した児童は、令和元年度のあいさつ道免許皆伝のバッジをもらう。 合格しなかった場合は、再度学級でしっかり練習して再試験を受ける。 合格者をチェックし、合格していない子に合格した子が関わることで、全員合格を目指す。 			 <ul style="list-style-type: none"> 児童の自主的な活動を重んじ、「なすことによって学ぶ」という指導原理を生かす。（結果より過程を大切に） 1・6年，3・5年，2・4年のピアを決め、上学年があいさつのコツを教える。 教職員は、自己肯定感と自己有用感を高めるため、活動を温かく見守り、大きな自信と新たな活動意欲が湧くような指導・助言を心がける。（ピア・サポートプログラムの活用） 		
					
取組の成果と課題					
<ul style="list-style-type: none"> 5月から始め、9月末には全員が合格した。あいさつに関する生活目標を5月と10月に取り組んだ。毎日クラスで振り返りを行い、学校全体で、5月82%、10月85%の達成率になった。 はきはきとした大きな声で、礼儀正しく職員室に児童が入室できる児童が増えてきた。 自分から進んで挨拶ができるまでには十分でなく、今後指導が必要である。（合格することではなく、日常的にあいさつを交わせるようにすることが目標） 					